



田中治彦

TANAKA, Haruhiko

履 歴

学歴

- 1971年3月 私立開成学園高等学校 卒業
- 1976年3月 東京大学教育学部 社会教育学科 卒業
- 1978年3月 東京大学教育学研究科 社会教育専門課程専攻 修士課程 修了
- 1982年3月 東京大学教育学研究科 社会教育専門課程専攻 博士課程 単位取得退学

学位

- 1978年3月 教育学修士（東京大学）
- 1996年9月 博士（教育学）（九州大学）

職歴

- 1982年4月 (財)日本国際交流センター・プログラムオフィサー
- 1986年4月 岡山大学教育学部 専任講師
- 1988年4月 岡山大学教育学部 助教授
- 1989年10月—90年9月 英国・サンダーランド大学 客員教授
- 2003年9月—04年9月 タイ・チェンマイ大学 客員教授
- 1997年10月—2010年3月 立教大学文学部教育学科 教授
(2000年4月—06年3月 東アジア地域環境問題研究所運営委員)

(2004年4月—09年3月 平和コミュニティ研究機構運営委員)
(2007年3月—ESD研究センター運営委員)
(2008年4月—10年3月 キリスト教教育研究所所員)
(2007年4月—09年3月 教育学科学科長)

非常勤講師 東京大学 (1998年度)
日本女子大学 (2002年度)
京都大学大学院 (2006年度)
上智大学 (2009年度)

学会および社会における活動 [1997年度以降]

所属学会・団体 日本教育学会
日本社会教育学会 (1998—2002年度 理事)
日本子ども社会学会 (2006—08年度 評議員)
こども環境学会
日本環境教育学会
IPA (子どもの遊ぶ権利のための国際協会)
開発教育協会 (2002—07年度 代表理事, 08—09年度 評議員)
シャンティ国際ボランティア会 (2006年度— 代議員)
シャプラニール=市民による海外協力の会 (2009年度— 評議員)

1998—2007年度 今井記念海外協力基金諮問委員
1999—2005年度 未来のための教育推進協議会 (ef) 共同代表
2002—07年度 国際交流基金日米センター・助成プログラム・アドバイザー
2006—08年度 ユネスコ・アジア文化センター・アジア太平洋地域教育協力事業委員
2006—08年度 日本YMCA同盟研究委員会委員
2007—08年度 子どもゆめ基金審査委員会専門委員
2008年度— 国連持続可能な開発のための教育 (ESD) の10年・円卓会議委員

業績一覧

著書、編著書については過去すべての著作物を掲載している。それ以外については1997年1月～2009年12月に発刊された主要なものを掲載する。

1. 著書

- 田中治彦『学校外教育論』学陽書房, 1988年4月, 219頁。
- 田中治彦『学校外教育論〈補訂版〉』学陽書房, 1991年5月, 228頁。
- 田中治彦『南北問題と開発教育——地球市民として生きるために』亜紀書房, 1994年9月,

246 頁。

- 田中治彦『ボーイスカウト——20世紀青少年運動の原型』中央公論社, 1995年10月, 182頁。
- 田中治彦『少年団運動の成立と展開に関する研究』(博士論文)九州大学, 1996年9月, 247頁。
- 田中治彦『少年団運動の成立と展開——英国ボーイスカウトから学校少年団まで』九州大学出版会, 1999年2月, 400頁。
- 田中治彦『国際協力と開発教育——「援助」の近未来を探る』明石書店, 2008年7月, 224頁。

2. 編著書

- ボランティア問題研究会編『子どもの冒険と安全』YMCA出版, 1986年2月, 229頁。
- 田中治彦・上平泰博・中島純『少年団の歴史——戦前のボーイスカウト・学校少年団』萌文社, 1996年3月, 1-86・301-324頁。
- ボーイスカウト日本連盟監修『少年団研究』復刻版, 大空社, 1996年5月～1997年9月, 全17巻別巻1。[全体の監修, 別巻「少年団研究解題」「少年団・ボーイスカウト文献解題」執筆]
- 田中治彦編著『鈴木利貞と座間村幼年会に関する研究——学校と地域の協働の歴史——』(平成7～9年度科学研究費補助金(基盤研究C2)研究成果報告書), 岡山大学教育学部社会教育研究室, 1997年9月, 252頁。
- 田中治彦編著『地域をひらく国際協力——南北ネットワーク岡山10年の挑戦』大学教育出版, 1997年9月, 188頁。
- 田中治彦編著『子ども・若者の居場所の構想——「教育」から「関わりの場」へ』学陽書房, 2001年4月, 253頁。
- 日本社会教育学会編『子ども・若者と社会教育——自己形成の場と関係性の変容——』東洋館出版社, 2002年9月, 272頁。[編集委員長。「子ども・若者と社会教育の課題」を執筆]
- 田中治彦編著『開発教育——持続可能な世界のために』学文社, 2008年8月, 254頁。

3. 単行本中の論文

- 田中治彦「地球的課題と生涯学習」倉内史郎・鈴木真理編『生涯学習の基礎』学文社, 1998年4月, 184-193頁。
- 田中治彦「ボーイスカウトの謎」BCJA編『BCJAの本——留学経験者が語る英国の学問と生活』風人社, 1998年5月, 146-149頁。
- 田中治彦「国際化の問題を考える」有園格・小島宏編『学校の創意工夫を生かす「総合的な学習」の展開3 国際理解, 福祉・健康の展開』ぎょうせい, 1999年4月, 20-29頁。
- 田中治彦「地域社会の子どもの遊び場」松澤員子編『子どもの成長と環境』昭和堂, 2000年3月, 184-201頁。
- 田中治彦「私たちにできる社会参加・国際協力」『中学校総合学習開発事例集2 国際理解』東京法令出版, 2000年, 140-149頁。
- 田中治彦「イギリスの青少年施設」小林文人・佐藤一子編『世界の社会教育施設と公民館——草の根の参加と学び』エイデル研究所, 2001年, 173-186頁。
- 田中治彦「子どもの参画とまちづくりを促すアクション・リサーチ」子どもの参画情報セン

- ター編『子ども・若者の参画——R. ハートの問題提起に応じて』萌文社, 2002年, 140–147 頁。
- 田中治彦「地球市民教育」毛受敏浩編『草の根の国際交流と国際協力（国際交流・協力活動入門講座 I）』明石書店, 2003年, 204–216 頁。
 - 田中治彦「北タイにおける NGO 活動の歴史的展開——住民参加型開発への移行とその課題」佐久間孝正（他編）『移動するアジア——経済・開発・文化・ジェンダー（平和・コミュニティ叢書 3）』明石書店, 2007年, 248–272 頁。
 - 田中治彦「序論 2 これからの開発教育と「持続可能な開発のための教育」」山西優二・上條直美・近藤牧子（編著）『地域から描くこれからの開発教育』新評論, 2008年 5 月, 17–36 頁。

4. 学術論文

- 木原孝博・田中治彦・藤森進「中学生・高校生の学校不適応に関する研究——岡山県青少年基本調査（1994）に基づく分析——」『岡山大学教育学部研究収録』第 104 号, 1997年 3 月, 105–122 頁。
- 田中治彦「男女平等に関する市民意識調査」『見つめよう見つめなおそう男と女——平成 8 年度男女共同参画モデル市町村事業報告書』井原市・井原市教育委員会, 1997年 3 月, 28–42 頁。
- 田中治彦・筒井愛知「住民参加による子どもの遊び環境調査——岡山市 3 学区における実践より——」『子ども社会研究』第 3 号, 1997年 6 月, 71–83 頁。
- 田中治彦「生涯学習と市民社会」『日本社会教育学会紀要』第 34 号, 1998年 6 月, 28–29 頁。
- 田中治彦「地球的課題と生涯学習——1990 年代の国際会議の行動計画にみる」『立教大学教育学科研究年報』第 42 号, 1999年 3 月, 147–156 頁。
- 田中治彦「イギリスの青少年事情と研究動向」『子ども社会研究』第 5 号, 1999年 6 月, 137–138 頁。
- 田中治彦「開発教育からの提言〈特集 NGO・NPO がかける総合学習〉」『人権教育』第 11 号, 2000年 5 月, 8–15 頁。
- 田中治彦「子どもが発達するフィールドへのアプローチ：生きる空間を研究する〔教育心理学会第 42 回総会準備委員会企画シンポジウム〕」（秋田喜代美, 山本利和, 南博文, 田中治彦, 青木多寿子, 箕浦康子）『教育心理学年報』第 40 集, 2001年 3 月, 19–20 頁。
- TANAKA, Haruhiko, “Development Education and Global Educations in the Japanese Context”『立教大学教育学科研究年報』第 45 号, 2002年 3 月, 1–10 頁。
- TANAKA, Haruhiko, “Development Education and Global Educations in the Japanese Context” in *The Development Education Journal*, Vol.8. 3, June 2002, pp.27–29.
- 田中治彦「北タイの NGO 活動の歴史と課題」『アジアにおけるグローバリゼーションのもとでのコミュニティ教育（平成 15～16 年度科学研究費補助金基盤研究(B) (1) 研究成果報告書：研究代表者 上村千賀子）』2005年 3 月, 83–95 頁。
- 田中治彦「開発教育と ESD（持続可能な開発のための教育）」日本社会教育学会編『グローバリゼーションと社会教育・生涯学習（日本の社会教育第 49 集）』東洋館出版社, 2005年 9 月, 199–211 頁。

- 田中治彦「北タイの NGO 活動の歴史と課題——参加型開発と参加型学習に着目して」『立教大学教育学科年報』第 49 号, 2006 年 1 月, 107-122 頁。
- 田中治彦「子ども・若者の「居場所」の構想」『子どもの権利研究』第 8 号, 日本評論社, 2006 年 2 月, 10-14 頁。
- TANAKA, Haruhiko, “Defining Education for Sustainable Development—Preliminary Observations”, *Report—International Conference on Education for Sustainable Development: Beyond Environmental Education and Development Education*, Rikkyo East Asia Environment Institute, March 2006, pp.192-199.
- 田中治彦「参加型開発とは何か——「参加のはしご」モデルから考える」『平和・コミュニティ研究』No.3, 2007 年 7 月, 13-23 頁。
- 田中治彦「参加型開発と開発教育——参加型の学習をキーワードとして」『開発教育』Vol.54, 2007 年 10 月, 8-38 頁。
- 『内閣府青年国際交流事業「東南アジア青年の船」既参加外国青年の意識と事後活動に関する実態調査』内閣府, 2008 年 3 月, 61-69 頁。
- 田中治彦「アジアにおけるローカルな知の可能性——タイにおける「開発」と「ローカル・ウィズダム」」『日本社会教育学会紀要』第 44 号, 2008 年 6 月, 125-126 頁。
- 田中治彦「青少年育成におけるコーディネーター」日本社会教育学会編『学びあうコミュニティを培う——社会教育が提案する新しい専門職像』東洋館出版社, 2009 年 9 月, 176-180 頁。

5. 翻訳

- ロジャー・ハート(著), 木下勇・田中治彦・南博文(監修), IPA 日本支部(訳)『子どもの参画——コミュニティづくりと身近な環境ケアへの参画のための理論と実際』萌文社, 2000 年 9 月, 216 頁。
- ピン川環境保全協力協会(他編), 田中治彦(監訳)『北タイ環境教育カリキュラム「私たちのピン川」』立教大学東アジア地域環境問題研究所, 2005 年 8 月。
- ソメシュ・クマール(著), 田中治彦(監訳), (特活) 開発教育協会(企画協力)『参加型開発による地域づくりの方法——PRA 実践ハンドブック』明石書店, 2008 年 8 月, 402 頁。

6. 記事・報告書・その他

- 『地方自治体の国際協力活動の現状と課題——望ましい国際協力のあり方を探る』日本国際交流センター・自治体国際化協会, 1997 年 3 月, 53-68 頁。
- 「21 世紀初めの教育課程に望むもの——開発教育の立場から」『開発教育』第 35 号, 1997 年 3 月, 33-41 頁。
- 「学校における開発教育をどう進めるか」『教職研修』増刊号(『総合的な学習の実践・No.3 国際理解教育の考え方・進め方』), 1997 年 8 月, 20-23 頁。
- 「座談会・開発教育協議会設立 15 周年を迎えて」『開発教育』第 36 号, 1997 年 8 月, 4-17 頁。
- 日本国際交流センター編『地域がつなぐ日本とアジア(自治体国際協力調査報告書)』自治体国際化協会, 1998 年 3 月, 55-63・131-146 頁。
- 「総合学習と開発教育」『開発教育』38 号, 1998 年 8 月, 3-11 頁。

- 未来のための教育推進協議会編『市民による生涯学習白書』1999年3月, 84-87頁。
- 「地球的課題と生涯学習——1990年代の国際会議の行動計画にみる」『開発教育』第40号, 1999年8月, 49-58頁。
- 『国際化に関する学習のすすめ方——社会教育指導者の手引』国立教育会館社会教育研修所, 2000年2月, 7-10・20-21頁。
- 「地球的課題と個人学習」『個が「善く生きる」ための生涯学習』財団法人社会教育協会, 2000年3月, 71-88頁。
- 『いきいき開発教育——総合学習に向けたカリキュラムと教材』開発教育協議会, 2000年5月, 7-13・36-39頁。
- 「『国際理解教育』と環境教育をどうおこなうか」『子どもと楽しむ環境教育ガイド(総合教育技術7月号増刊)』小学館, 2000年7月, 20-23頁。
- 「一緒にタイランド」『立教』175号, 2000年12月, 6-9頁。
- 『開発教育・国際理解教育ハンドブック』国際協力推進協会, 2001年3月, 62-65頁。
- “A way forward, please?— a case study from Japan” (with Hiromi Yamashita), *The Development Education Journal* Vol.7 No.2, March 2001, pp.33-34.
- 「総合的学習と国際理解教育」『自治体国際化フォーラム』第145号, 2001年11月, 2-5頁。
- 「子ども・若者の「関わり・参画」の場としての居場所の構想」『三多摩の社会教育』第94号, 2002年3月, 2-4頁。
- 『開発教育キーワード51』開発教育協議会, 2002年3月, 4-5・38-39・66-69・90-91頁。
- 「「疲れ」をもたらす社会——自己形成空間の変容」『児童心理』No.786, 2002年4月, 24-29頁。
- 「子ども・若者の「居場所」の構想」『更生保護』第53巻5号, 2002年5月, 6-11頁。
- 「人とのかかわりの中で地域と世界の課題に向き合う——「総合的な学習の時間」での国際理解教育——」『国際人流』第180号, 2002年5月, 12-15頁。
- 「南北問題などのグローバル・イシューをどう單元化するか(国際をテーマにした学習活動50のポイント)」『教職研修』7月増刊号, 2002年7月, 18-21頁。
- 遠藤克弥監修, 田中治彦(他編)『新教育事典』勉誠出版, 2002年10月, 574頁。[執筆項目は「地球的課題」「開発教育」「開発とは何か」「ボランティア・NGO・NPO」]
- 「座談会 開発教育は将来への投資」ダグラス・ボーン, 宮崎幸雄, 田中治彦(司会), 『国際開発ジャーナル』No.553, 2002年12月, 35-38頁。
- 「日英協力から世界ネットワークへ[対談 ダグラス・ボーン, 田中治彦]」『DEAR ニュース』第100号, 2002年12月, 2-4頁。
- 「青少年の社会参加」「ボランティア活動」『管理職スペシャル・レクチャーNo.6 最新青少年事情サミングアップ』教育開発研究所, 2003年2月, 186-90頁。
- 「開発教育——これまでの20年とこれからの課題」『開発教育』第47号, 2003年2月, 3-7頁。
- 「対談: 持続可能な開発のための学びをどう創るか——開発教育と環境教育の連携協力に向けた課題と展望(阿部治+田中治彦)」『持続可能な開発のための学び——別冊開発教育』2003年3月, 3-11頁。
- 「『持続可能な開発のための教育』とは何か——予備的考察」『持続可能な開発のための学び——別冊開発教育』2003年3月, 12-21頁。

- 「日本環境教育学会報告・持続可能な開発のための教育についてのシンポジウム」『開発教育』第48号, 2003年8月1日, 94-95頁。
- 『少年団・ボーイスカウト史研究』スカウト史研究会, 2003年7月, 11-31頁。
- 『もっと話そう! 平和を築くためにできること』開発教育協会, 2003年8月, 38-41頁。
- 『参加型学習で世界を感じる——開発教育実践ハンドブック』開発教育協会, 2003年8月, 55-60・82-85頁。
- 「日本環境教育学会第14回大会(愛知)シンポジウム——持続可能な未来に向けた環境教育」『環境教育』Vol.13 No.2, 2004年3月, 78-96頁。
- 『NGOスタッフのための国内事業ハンドブック』「NGOの国内活動と開発教育」研究会, 開発教育協会, 2004年7月, 14-15・26-27・56-57・81-88頁。
- 「ハンブルグ成人教育宣言はどこまで達成されたか? 第5回国際成人教育会議中間レビュー会議報告」『開発教育』第49号, 2004年2月, 120-123頁。
- 「チェンマイ便り」『DEAR』109-114号, 2004年6月-2005年4月。
- 「地球的課題に取り組む開発教育・グローバル教育」『財団法人名古屋国際センター設立20周年記念論文集』名古屋国際センター, 2005年2月, 14-22頁。
- 「『持続可能な開発』と『参加型開発』を通じた日タイ交流の可能性」『開発教育』第51号, 2005年2月, 62-69頁。
- 「国際協力と開発教育——第三ステージを迎えた日本の開発教育」『開発教育』第52号, 2005年8月, 4-13頁。
- 「インドネシア・マレーシアにおけるESD事業協力ニーズ調査報告書」『開発教育』第52号, 2005年8月, 112-115頁。
- 「開発教育とESD(持続可能な開発のための教育)——子どもの参画を軸として」『教育と文化』40号, 2005年8月, 50-57頁。
- 「開発教育と国際交流」『YOUTH NETWORK 青少年と国際交流』Vol.217, 2005年11月, 3-7頁。
- 『国際会議 持続可能な開発のための教育——環境教育と開発教育を超えるもの』立教大学東アジア地域環境問題研究所, 2006年3月, 199頁。
- 「タイにおける参加型開発と国際協力の課題」『ACCU ニュース』No.355, ユネスコ・アジア文化センター, 2006年5月, 2-4頁。
- 「国際開発と開発教育の観点からみたESD」『農村文化運動』No.182, 2006年10月, 18-24頁。
- 「『援助』する前に考えよう——参加型開発とPLAがわかる本」開発教育協会, 2006年11月, 96頁。
- 「連載講座・討論に発展! 社会科ネタ 多文化社会理解の開発教育」『社会科教育』No.574-585, 2007年4月-2008年3月。
- 「そもそも『居場所』って、どんなところなんでしょう?」『カトリック生活』2008年1月, 6-9頁。
- 「総力調査——18歳が“できること”“できないこと”」『週刊プレイボーイ』第43巻第9号, 2008年3月10日, 48-52頁。
- 「学者が斬る——18歳成人で若者の社会参加を促せ」『エコノミスト』2008年7月1日, 54-57頁。
- 『若者の居場所——YMCAスタディシリーズ22-1』日本YMCA同盟, 2008年9月, 39頁。

- 『若者に期待する“市民力”——YMCA スタディシリーズ 22-Ⅱ』日本 YMCA 同盟, 2008 年 9 月, 59 頁。
- 『子どもの参加を促すガイド』教育協力 NGO ネットワーク, 2009 年 3 月, 7-18 頁。
- 『2008 年度「持続可能な開発のための教育 (ESD)」総合カリキュラム開発のための調査研究事業報告書』開発教育協会, 2009 年 3 月, 11-17 頁。
- 「「地域を掘り下げ, 世界とつながる」カリキュラムをめざして—— ESD・開発教育カリキュラム研究会報告」『開発教育』Vol.56, 2009 年 10 月, 162-165 頁。